

進んで活動する姿

続けて最後までする姿

目的・目標を持って活動する姿

友だちと学び合う姿

深く考える姿

実践事例

小学部5・6年／教科別の指導：図画工作

『自分で描きたい表情を考えたり、選んだりして、形や線を組み合わせる、向きを変えるなどして、いろいろな表情の顔を描こう』

1. 児童の実態と望む姿

- ・小学部5年生男子、小学部6年生男子
- ・教師が「顔を描いて」と言った後に、顔を描くとき、なぐり描きでぐるぐるの形や、おおよそ正しい位置に目や口を描く
- ・眉と目がつり上がり口がへの字の顔のイラストや写真を見て「怒った顔」と言い、眉や目が逆お椀型で口がお椀型の顔のイラストや写真を見て「笑った顔」などと言う
- ・自分で表情を描き分けて描こうとすると、いつも同じような表情の顔になることが多い
- ・そこで本題材では以下の望む姿を設定した
- いろいろな線や形を組み合わせたり、向きを変えたりする活動に自分で取り組み、表情が変わるおもしろさを知って欲しい
- ・眉・目・口をいろいろな形で描いたり、形や向きを変えたりして、いろいろな表情を描いて欲しい

2. 教材の概要 教材：『スチレン版画』

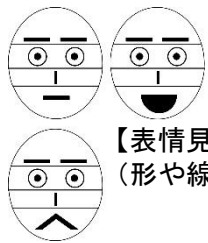
- ・簡単な操作で様々な表情を作ったり、作った表情の特徴に目が向いたりするように、眉・目・口の複数のパーツを組み合わせたり、向きを変えたりする活動を取り入れた
- ・見通しを持って制作に取り組むことができるように、版紙の版を押す部分を区分けしておき、制作する版画の数を視覚的にとらえられるようにした

3. 授業のポイント

ポイント1 自分が学習したことを活用しながら作品を制作するための学習活動と教具の工夫

【主体的に学習に取り組み、学習したことを基にして自分で作った教具を使いながら描きたい表情を描くためにはどうすればいいかな？】

- ・描こうとする表情の眉・目・口の形や線、向きに目が向くように、はじめに眉・目・口について、それぞれ数種類ずつの形や線のパーツを提示し、その中から選んだパーツで表情見本を作るようにした。その後、作った表情見本を見ながら各パーツの形や線、向きを確認しながらスチレンボードに描くようにした。
- ・パーツの向きによって表情が変わることに目が向くように、簡単な操作で眉・目・口の各パーツの向きを変えられるようにした。



【表情見本 (形や線)】



【表情見本 (向き)】

・眉が動いて向きが変わる

・自分で表情見本を作ることで、いろいろな形や線について、また、同じ形や線でも向きが変われば表情が変わることについて理解することができる。さらにそれを活用しながら作品を制作することができる。

授業構想チェックシート 内容チェック 教具について①②③⑤
意欲チェック 教具について⑦⑧⑨⑩

ポイント2 学習する内容を焦点化し、スモールステップで学習を進めるための題材計画の工夫

【描きたい表情を表すために必要なパーツの形や線の種類などを確実に理解していくためにはどうすればいいかな？】

- ・様々な表情を表す形や線の種類などに目が向くように、一度に扱う表情の種類やその表情を表すために必要な形や線の種類を限定して取り組み始め、徐々に扱う形や線を増やしていく題材計画を設定した。

一次	二次					三次
表情に興味を持ったり、スチレン版画の仕方を知ったりする	口と目の形を変えて 笑った表情、怒った表情	口と目の形を変えて 驚いた表情、泣いた表情	口と目と眉の向きを変えて 怒った表情、寝た表情、泣いた表情	口と目と眉の向きを変えて 笑った表情、驚いた表情、困った表情	口と目と眉の向きを変えて いろいろな表情の顔を描く	いろいろな形などを変えて、おもしろい表情の顔を描く
	口の形を変えて 怒った表情、笑った表情	目の形を変えて 怒った表情、笑った表情	口と目の形を変えて 怒った表情、笑った表情	口と目の形を変えて 泣いた表情、驚いた表情、	口と目の形を変えて 寝た表情、困った表情	

授業構想チェックシート 内容チェック 題材計画について①②
意欲チェック 題材計画の工夫⑤⑥⑩